



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第71号

令和5年5月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年4月1日～30日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・選挙投票の付き添い : 1件
- ・家賃支払いの付き添い : 1件
- ・病院の付き添い : 1件
- ・病院への送り : 1件
- ・粗大ごみの搬出 : 1件

小計 7件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件 ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 27日(食堂) 29日(フードパントリー)
- ・ふれあいサロン : 14日 26日 ・子育て広場 : 5日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 14日

小計 15件

合計 22件

病院の付き添い:ありがとう

かかりつけの病院の先生から、検査をするように紹介状をもらい西部医療センターに行くことになりましたが、足が悪いため、ひとりでは行けないので、タクシーを呼んでもらい付き添いをお願いしました。大きい病院は診察まで時間がかかりますし、機械の操作が分からないので手続きなどをしてもらい助かりました。



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます

編集後記: ボランティアからの感想

何度か病院の付き添いをしましたが、高齢者一人では受付や会計の機械操作や移動に戸惑うことがあると思います。どこでもデジタル化が進み、高齢者が戸惑っている姿を病院でよく見かけます、近くの方が気が付いて助けてくれている姿もよく見ます。また道で病院に行くのにタクシーが捕まらず困っている方が見え、病院まで送ったボランティアもいます。困っている方を見つけたらすぐに声をかけることが大事です。また誰でも困っている事があったら一人で悩まず、声をかけてください。そして皆さん困っている人を見つけたら勇気を出して声をかけてみましょう。そのような「未来の街づくり」を目指しましょう。

(谷口博子コーディネーター)

ちょっとした困りごとは相談窓口へ
お電話でも受け付けいたします



開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00

☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも



第2金曜日 午後2時~4時
場所: 東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田

コミセンまつり: 6月25日(日)午前10時~午後3時
「東志賀コミュニティセンター」



* 作品を募集しています

詳しい内容はこちらの閲覧板チラシをご覧ください

カフェサロンひがし志賀 : 5月12日(金) 5月24日(水) 6月9日(金) 6月28日(水)
子育て広場: 第1水曜日開催

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第72号

令和5年6月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年5月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
 - ・網戸レールの修理 : 1件
 - ・台所蛍光灯の確認 : 1件
 - ・台所シンク排水 : 1件
 - ・灯籠の移動 : 1件
 - ・ベランダの片付け : 1件
 - ・段ボールと新聞の整理と移動 : 2件
 - ・話し相手 : 1件
 - ・病院の付き添い : 1件
 - ・生活相談 : 1件
- 小計 12件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・子ども食堂 : 22日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
- ・ふれあいサロン : 12日 24日
- ・子育て広場 : 10日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 12日

小計 16件 合計 28件

子ども安全ボランティア : 登下校の見守り

地域の先輩の活動を引き継ぎ、10年が経ちました。その時の小学1年生が高校2年生になりました。

毎朝、子供たちとの挨拶から始まり、学校のことなど子供たちの楽しみや、時には悩みと接しながら、分団の集合、登校の見守りをしています。このことが私自身の規則正しい一日の始まりとなっています。やんちゃで挨拶もしなかった子も成長し、子ども達の方から挨拶や会釈をされるととても良い心地になります

これらの活動により、地域のちょこっとの役立ちを感じつつ、むしろ私自身の日々の生活栄養材になっています。(瀬川 司 ボランティア)



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます

編集後記

登校時の見守りは、12名のボランティアがそれぞれの判断で場所を決め、なされています。活動方法は色々ありますが、自宅周辺での見守りなど、地域全体で子供たちの安全を守る環境が整うとともに、地域全体の見守りと交流のきっかけが育まれる事を期待しています。

(谷口博子コーディネーター)

ちょっとした困りごとは相談窓口へ
お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00
☎ 080-3651-7435
相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時~4時
場所: 東志賀コミュニティセンター 参加費 無料
連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田



コミセンまつり: 6月25日(日)午前10時~午後3時「東志賀コミュニティセンター」

* 作品募集中

申し込み方法: ①コミセン窓口備え付けの用紙に記入 ②Email: cosmos7435@gmail.com
お誘いあわせの上、どちらかで、申し込みを期待しております。

* 展示例

自慢の作品 ダーツゲーム フキマルシェ フリーマーケット :ぜひ見に来てください

カフェサロンひがし志賀 : 6月28日(水) 7月14日(金) 8月23日(水)



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第73号

令和5年7月12日

活動報告

令和5年6月1日～30日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・電球交換 : 1件
- ・粗大ごみの搬出 : 2件
- ・配線の整理 : 1件
- ・ソファの移動 : 1件
- ・ミーティングの送迎 : 1件
- ・病院の付き添い : 2件

小計 10件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 30日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
24日(子ども居場所)
- ・ふれあいサロン : 9日 28日
- ・ふれあい給食 : 6日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 9日
- ・子育て広場 : 7日

小計 18件 合計 28件

コミセンまつりを通して住民同士と次世代とのつながりを目指して

マルシェ、ゲーム、ワークショップで参加、体験ができ、作品展では見て楽しめる、みんなが満足できるコミセン祭りになったと思います。ダーツでは大人も子どもも盛り上がり、次回は世代関係なく対戦型にしてみるのも面白いかと思いました。

(天野美帆ボランティア)

コミセンで活動させていただいている幼児教室のママたちと参加しました。準備や当日の運営をしてくださっている学区の方たちの姿を見て、できるお手伝いをしたいと思いました。

(鈴木玲子ボランティア)

初めての参加でしたが、子どもからお年寄りまで様々な方が世代を超えてコミュニケーションを取っていて、コミセンまつりが地域の活性化や団結につながっていると思いました。

(菅原陽子ボランティア)

受付を担当していたら、いろいろな人に「頑張ってるね」とか「偉いね」って声をかけてもらってうれしかったです。

(菅原彩葉 5年生)



編集後記

トワイライト児童、フレンドリークラブ、女性の会の他に北陵中学校美術部の出展、和紙絵画のワークショップ、兒子八幡社の紹介などつながりを広げて開催しました。初めて参加した方もおり、住民同士の交流を楽しまれました。これをきっかけに多世代同士がつながっていくといいですね。また若い世代が支えあい事業の運営に参加していただくことを今後期待したいので、ぜひ皆さんからも進んで声をかけてみてください。

(谷口博子コーディネーター)

ちょっとした困りごとは相談窓口へ
お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:00

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター

認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時～4時
場所：東志賀コミュニティセンター
参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田



「支えあいたより」を
こちらからご覧にな
れます

カフェサロンひがし志賀 : 7月26日(水) 8月23日(水) 9月8日(金) 9月27日(水)



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第74号

令和5年8月3日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年7月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・電灯のひも交換 : 1件
- ・資源回収のお手伝い : 1件
- ・ミーティングの送迎 : 1件
- ・病院的付き添い : 1件
- ・携帯電話の操作 : 3件
- ・話し相手 : 2件

小計 12 件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・子ども食堂 : 12日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
- ・子ども居場所 : 15日
- ・ふれあいサロン : 14日 26日
- ・子育て広場 : 5日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 14日
- ・登下校の見守り(児童)

小計 17 件 合計 29 件

サロン:「笑って防犯!」落語を聞いて防ぐ特殊詐欺

今年の夏も記録的な暑さを更新していますが、7月26日コミセン2階で7月のカフェサロンを開催しました。当日は朝から天気も良く猛暑が予想されましたので、コミセン前では、朝から打ち水をして、皆さんを迎える準備を進めて参りました。

今回は北署生活安全課の上田巡查長さんに特殊詐欺被害を防ぐ為の注意喚起を落語の語り口でお話しいただく「防犯落語」を披露して頂きました。話の後、実際電話がかかって来た方からの質問などもあったり、来場下さった方々の多くが「他人事ではない」ことを実感された様子でした。その後はお茶を飲みながら皆さんとの談話や歌で楽しみ、笑い語りながら健康的に防犯意識を高めることができた1日となりました。

(塩見尚志ボランティア)



編集後記

毎月サロンに参加くださる方で、当初「話は苦手だから」と言われておしゃべりをされなかった方が、皆さんとお話するようになり、また「サロンに来ると色々な情報が聞けるから楽しい」とおしゃる方もおります。地域の居場所を提供して、皆さんが参加して下さるのをお待ちしております。

(谷口博子コーディネーター)



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口へ
お電話でも受け付けいたします



開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00
☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも



第2金曜日 午後2時~4時
場所: 東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田

カフェサロンひがし志賀 : 8月23日(水) 9月8日(金) 9月27日(水) 10月13日(金) 10月25日(水)



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第75号

令和5年9月18日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年8月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・水漏れ修理 : 2件
- ・ヒサン屋根の修理 : 1件
- ・枝切り : 2件
- ・家賃支払いの付き添い : 1件

小計 6件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・子ども食堂 : 28日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
- ・子ども居場所 : 11日
- ・ふれあいサロン : 23日
- ・子育て広場 : 2日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 4日

小計 15件 合計 21件

トワイライト 黒川観察会

8月3日、コロナで中止になっていたトワイライトの黒川観察会が数年ぶりに開催されました。

トワイライトの生徒34名が参加し、女性の会やその他の関係者15名のサポートを受けて黒川に入り、タモを使って魚や虫を採り、どんな生き物がいるか観察をしました。

子ども達は普段入ることがない黒川の自然に触れて、「ザリガニやヤゴが採れた!」「川に水草がいっぱい生えていた。」「楽しかった!」と、たくさん採れた魚や虫の入ったバケツを手に、笑顔で感想を口にしていました。

(浅井叔子ボランティア)



参加者の声

子どもたちの笑顔がいっぱいで癒されました。普段の学校生活では見せないような楽しそうな表情をしているとお聞きし、自然を体感することの大切さを痛感しました。これからもこのような、子どもたちがいろいろ体験できるような環境作りが大切ですね。

編集後記

豊かな自然環境との共生を目指す「黒川ドリーム会」との共催イベントが再開し、久しぶりに、川辺に子供たちの歓声が広がりました。子供たちが安心して過ごせるような街づくりにも、取り組んでいきましょう。(谷口博子コーディネーター)



今まで発行した「支えあいたより」をごちからご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口へ
お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:
☎ 080-3651-7435
相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時~4時
場所: 東志賀コミュニティセンター 参加費 無料
連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田



カフェサロンひがし志賀 : 9月27日(水) 10月13日(金) 10月25日(水)
人にやさしい研修会 : 10月17日(火) 北区手をつなぐ育成会 会長 宮原あけみさん

令和5年10月12日

活動報告

令和5年9月1日～30日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 3件
- ・蛍光灯の交換 : 1件
- ・玄関の修理 : 1件
- ・灯籠の移動 : 1件
- ・食器扉の調整 : 1件
- ・携帯電話の操作相談 : 1件

小計 8件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・ふれあい給食 : 5日
- ・子育て広場 : 6日
- ・子ども食堂 : 22日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
- ・子ども居場所 : 2日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 8日
- ・ふれあいサロン : 8日 27日

小計 18件 合計 26件

災害への備え:日頃の支えあいと見守りが大切

9月は関東大震災を始め、伊勢湾台風、御嶽山の噴火など多くの災害に見舞われた記憶がよみがえります。災害時に最も災難を被るのは「弱者」です。高齢や障がい、独居や片親、外国人、引きこもりなどの方々、日々困難の生活に加え、被災時にどのようなことに遭遇するであろうかに、思いを巡らせましょう。

災害大国に生まれ育ち、暮らしを続けていかざるを得ない私たちにとって、大切なのは「日頃の備え」です。

「日頃の備え」のためには、まずは自分自身の安全を確保することが重要です。次には、周辺に支援が必要な方々の安全を優先して行動するべきです。毎年各町内で「安否確認訓練」を行っています。何世帯の確認ができたかの報告を受けていますが、被災時には弱者をどう救うかという観点で、「訓練」を積み重ねていきたいと思っています。(防災委員 G T)

編集後記

支えあい事業は、地域に住み続ける私たちがお互いに支えあう関係を日常的に作り上げるための活動ですが、災害という非常の事態に遭遇した際にも、そのきずなが発揮されることを認識しております。「日頃の備え」を作り上げましょう。

(谷口博子 コーディネーター)

普段からの備え

家族や町内会(自治会・親睦会)で話し合うなど
日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

- ▶ **建物を耐震化する。**
・昭和56年5月以前に着工した住宅には助成制度があります。
- ▶ **家具を固定する。(転倒防止対策)**
・家具に押しつぶされたり、避難の妨げとならないよう家具等を固定しましょう。
- ▶ **非常持出品・備蓄品を準備しましょう。**
・水や食糧、携帯用トイレ等の備蓄品を1週間分、そのうち3日分は非常持出品として持ち運びができるようにしましょう。
- ▶ **安否確認方法を決めておく。**
・災害用伝言ダイヤル[171]や災害用伝言板サービスを確認しておきましょう。(毎月1日・15日、正月三が日、防災週間などに体験できます。)
- ▶ **指定緊急避難場所、指定避難所、町内会(自治会・親睦会)の一時集合場所等を確認する。**
・避難場所等を確認しておきましょう。また、避難するルートも確認しましょう。



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00
☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



* 認知症カフェ なもなも : 第2金曜日午後2時~4時

* カフェサロンひがし志賀 : 10月25日(水) 11月10日(金)
11月22日(水)

* 人にやさしい研修会 : 10月17日(火)
北区手をつなぐ育成会 会長 宮原あけみさん

場所: 東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

ちごいち: 11月19日(日) 兒子八幡社境内 10時~14時 (雨天の時は東志賀コミセンにて開催)

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第77号

令和5年11月13日

活動報告

令和5年10月1日～31日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・庭木の手入れゴミ出し : 1件
- ・専用庭の草取り : 2件
- ・トイレの鍵修理 : 1件
- ・家賃支払い付き添い : 1件

小計 8件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 8件
- ・子育て広場 : 4日
- ・子ども食堂 : 25日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
- ・子ども居場所 : 21日
- ・登下校の見守り(児童)
- ・認知症カフェ(なもなも) : 13日
- ・ふれあいサロン : 13日 25日

小計 18件 合計 26件

第8回研修会 「障がいのある人と地域とのつながり — 知的・発達障がいの理解のために —」

講師 : 北区手をつなぐ育成会 会長 宮原あけみさん
日時 : 10月17日(火) 場所: 東志賀コミュニティセンター
参加者 : 20名

講演報告: 障がいのある息子が成人し、働くことができていること、幼いころから友達や助けてくれる人と接したおかげで、知り合いも多く、よく名前を憶えていること、スポーツやピアノ、料理、旅行など積極的に取り組んでいることなどのお話から始まりました。さらに、早寝早起き、運動、遊びなど、規則正しい生活を心掛けたこと、家族が孤立することなく、一般の方とのお付き合いが大切と強調されました。

北区手をつなぐ育成会の活動から障がいのある人を理解してくれる方が一人でも増える事を願っているとおっしゃりました。そして最後に以下の言葉で結ばれました。

「障害があってもなくても、それぞれの人が、共に生きることができる社会を実現したいですね。誰にとっても幸せな社会に！」

参加者の感想

宮原会長の講演会を聞き、思いと努力が障がい者に対する、地域社会の理解促進に繋がるのだと感じました。自身の息子さんの地域での繋がりを具体的に話され、相手は障がい者ではなく『一人の人間』として当たり前に関わる大切さを感じました。(長谷川達 ボランティア)

編集後記

前号では社会的な弱者を優先して、安全・安心を確保することが「ささえあい」で重要と記しましたが、宮原さんの講演をお聴きし考えを更に進化すべきと感じました。障がいの有無にかかわらず、一般と特別を区別することなく、「共に暮らし、幸福を全うできる」地域社会の実現を。

今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます



ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00
☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



*認知症カフェ なもなも : 第2金曜日午後2時~4時



東志賀コミテセン 参加費 無料

*カフェサロンひがし志賀: 11月22日(水) 12月8日(金) 24日(水) 東志賀コミセン10時より

*ちごいち: 11月19日(日) 兒子八幡社境内 10時~14時
(雨天の時は東志賀コミセンにて開催)



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより

第78号

令和5年12月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年11月1日～30日

生活支援事業

- 水道パッキング交換 : 1件
- テレビの不具合 : 1件
- テレビリモコン調整 : 1件
- 延長コード交換など : 1件
- スーパーまでの付き添い : 1件
- ゴミ出し : 3件
- 冷蔵移動 : 1件
- 電話機の相談 : 1件
- 生活相談 : 1件

小計 11件

認定事業

- 見守り(高齢者) 7件
 - 子育て広場 : 1日
 - 子ども食堂 : 30日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
 - 子ども居場所 : 25日
 - 登下校の見守り(児童)
 - 認知症カフェ(なもなも) : 10日
 - ふれあいサロン : 10日 22日
- 小計 16件 合計 27件



『ちごいち』:11月19日(日) 兒子八幡社 10時～14時

お天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。物販等の出店やおゆずりコーナーの他に、境内ではちごいちクイズラリーや氏子総代の方の手作りゲーム、社務所ではささえあいカフェで無料の飲物やお菓子を提供する休憩所を設け、子どもはもちろん、大人も楽しんでいました。参加した人たちは、また来年も開催してほしい、おゆずりコーナーにいいものを見つけた！昨年買ったけど、今年もまた買ったよ、などと笑顔で感想を口にしていました。(天野美帆 ボランティア)



子ども店員がになった駄菓子屋さん

ちごいちにかける想い

子供の頃、蝉取り、木登り、庄屋、カチン玉、鉄棒、滑り台、押しくら饅頭、Sニシ、野球、ドッチボール、サッカー…数え切れないゲームセンターだった。退職後、身近な道が歴史道旧古川と知り、古地図・村絵図・古文書を開くのが楽しみ、遊びとなった。お宮(天神さん)の東側は木曾街道、南側は大幸川で東志賀村の中心です。昔の人達も今日のように集い、『ちごいち』を楽しんだに違いない。(豊嶋 雅夫さん:志賀一北)



子ども店員さんたち

編集後記

今回は道ばたで立ち往生している、足の不自由な方を店まで付き添ったり、玄関先でテレビが点かないと訴える方に出会い対応したという例が含まれてます。コミセンや電話による要請には、時には対応に時間を要します。住民同士がこのような困りごとを、日頃からお互いに助け合って暮らす地域を目指しましょう。ちごいち、世代をこえて集まり楽しむ場の到来です。ささえあいを担う世代の若返りにも資するイベントで、ぜひ続けて実りあるものにしたいものです。



おゆずりコーナー



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口 お電話でも受け付けいたします
開設日時: 毎週水・金曜日 9:30～12:00
☎ 080-3651-7435
相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも
第2金曜日 午後2時～4時
場所: 東志賀コミュニティセンター
連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第79号

令和6年2月13日

活動報告

令和5年12月1日～令和6年1月31日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・携帯電話の操作 : 1件
- ・テレビの不具合 : 1件
- ・粗大ごみ搬出 : 1件
- ・エアコンの掃除 : 1件
- ・家賃支払い、法務局供託の付き添い : 1件
- ・段差解消スロープ設置 : 1件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 14件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・ふれあい給食 12月5日
- ・子育て広場 : 12月6日・1月10日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 12月8日・1月12日
- ・子ども食堂 : 12月13日 1月29日(食堂)
12・1月 19・29日 (フードパントリー)
- ・子ども居場所づくり : 12月2日 1月13日
- ・ふれあいサロン : 12月8日 20日 1月12日 24日
- ・民生委員活動高齢者子育て・年賀状 : 2件

小計 12件

小計 34件 合計 46件



今まで発行した
「支えあいたより」を
こちらからご覧になれます

消防団の活動によるささえ合い

消防団は地域の防災をささえる最も身近な組織で、重要なボランティア活動のひとつでもあります。消防活動をはじめ各種の予防警戒活動及び防災指導などを行います。災害が発生した際には、消防署と連携して現場へ駆けつけ、消防署員が消火活動に専念できるよう、交通整理や立ち入り規制などを担当支援します。毎月の「ポンプ訓練」や19日の「防火広報夜回り」が主な活動となっていますが、春と秋の「全国一斉火災予防運動」期間と、年末特別消防警戒で学区内の夜回りを実施しています。出初式や観閲式、河川敷での水防訓練などの公的行事への参加に加え、学区では防災委員会と協力し、自主防災訓練や盆踊大会など、防火・防災警戒も重要な活動のひとつです。大規模な災害に見舞われた際には、消防署などは被害が最もひどい箇所の消火と救援を優先して出動するため、公的な救援が来るまでは、地元の市民が自ら消火にあたり、お互いを助け、命を繋ぎとめていく力が必要になります。その要が地元の消防団です。(犬飼邦雄さん)



ポンプ訓練

消防団員の思いと願い

災害は何時起きるか判りません。「家具の転倒防止対策」をするなど日頃から減災に心がけ、有事に関心を持つ事が重要です。また、保存食や水の備蓄、停電・断水などライフラインが止まった際への備えも日頃から心がけましょう。ここからは消防団からのお願いです。最近の団員は、本業はサラリーマンが多く、平日の昼間など有事に現場へ出動できない事がしばしばです。また25名の定員に対し、現在18名であり定員割れとなっています。高齢化も課題です。我こそはと、地元でボランティア活動をと考えている方、一番身近なささえあいの活動が消防団員です。18から65歳未満の健康で特に若い方、性別は問いません。是非この機会に申し出て下さい。



AED訓練

編集後記

まもなくガラケーが使用終了を迎えます。不慣れな方々にスマホの使い方を教えていく必要があります。スマホが使えないと日常生活が難しい時代が到来します。肉親ですと以外と難しいようです。また家賃の供託のために法務局に行く必要のある人も散見されます。私たちには法的な支援はできませんが、付き添いなどできる範囲で。消防団の紹介を投稿いただいたのは、「地域のささえあい」にとって、無くてはならない存在と思ったからです。特に地域の弱点や弱者を救うことを荷われているからです。若手の参加を期待します。

ちょっとした困りごとは相談窓口 お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:00

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時～4時

場所：東志賀コミュニティセンター

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第80号

令和6年3月12日

活動報告

令和6年2月1日～令和6年2月29日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 3件
- ・給湯器の点検確認 : 1件
- ・屋根修繕工事の業者への依頼確認 : 1件
- ・家賃支払い、法務局供託の付き添い : 1件

小計 6件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 7件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子育て広場 : 7日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 9日
- ・子ども食堂 : 22日(食堂) 19日(フードパントリー)
- ・子ども居場所づくり : 3日
- ・ふれあいサロン : 9日 28日

小計 15件 合計 21件

困りごとのある方、気楽にご連絡ください

毎月のように発行しています「ささえあいたより」の報告欄にありますように、多くの生活支援事業が東志賀学区でなされていて、本年度で100件あまりにのぼっています。しかしながら週2回、開いている相談窓口や電話相談、周辺の方々からの連絡だけに頼っているばかりでは、困りごとの実数がかかまわらないのではとの懸念を抱いています。

日本人特有の奥ゆかしい、遠慮の精神文化は大事にしなければならないとは思いますが、自分たちでは何ともできないことがあれば、是非連絡を頂きたいと思えます。いつしか支える、支えられるという立場をこえた関係を築き上げ、地域に「共助」と「互助」の活動を広げるためにも。



日頃のささえあい活動にご協力を: 特に若手の方々に

「ご近所ボランティア」に登録されている方々は、東志賀学区内では約100人の数にのぼります。「地域支えあい事業」を行っている学区の中では抜きん出た数を誇っています。しかしながら高令者が多く、活動に限界が出始めています。シルバー人材の活用も大事なことですが、担い手として徐々に若手に委ねて行き、バトンタッチしていく努力も、活動の継承のために必要と考えます。若手の方々、特に子育てが一段落し始めた年代層の参加を熱望しています。



編集後記にかえて: コーディネーターのつとめ

支えあい事業のマネジメントを担うのは「ボランティア・コーディネーター」という役目で、東志賀学区には10人程います。どなたに活動を依頼するかの判断や、社会福祉協議会などの公的組織との連携を図っています。ボランティアへの活動依頼については、ついコーディネーターだけで行ってしまったり、頼みやすい方に何度も依頼することが多く、支えあいの活動を地域の隅々にまで広げるという使命を忘れがちになっていくことが反省点です。皆様のお力を活かし良い打開策を見つけていくつもりです。

(谷口博子コーディネーター)



今まで発行した「支えあいたより」を
こちらからご覧になれます



東志賀学区のホームページをこちら
からご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口 お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00

☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時~4時

場所: 東志賀コミュニティセンター

連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田

